

地域の守り神

お人形様

お人形様は、田村市船引町の芦沢と堀越地区内に背丈四メートルの魔除の神様として祀られているものです。

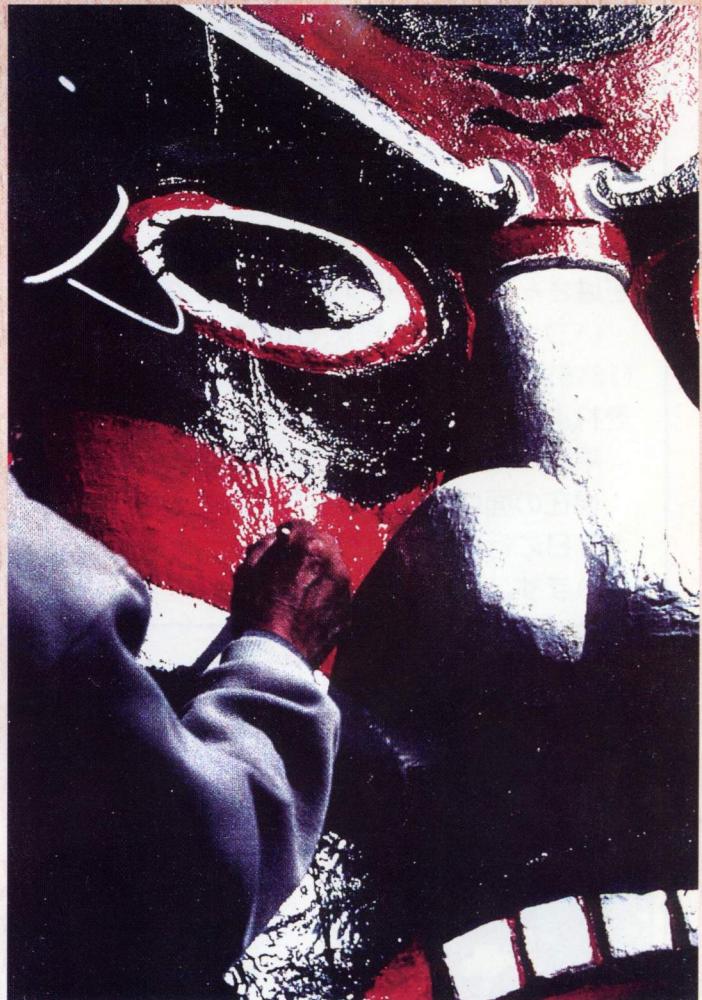
往時、三春町からいわき市に通じる道路を「磐城街道」と呼び、この街道の三春町芹ヶ沢、船引町屋形、朴橋、堀越、滝根町広瀬（一説には船引町光大寺）の五か所にお人形様が祀られ、人々はこれを磐城街道の「五人形様」と呼んでいたと伝えられています。現在、お人形様の製作の習俗が残っているのは、船引町の屋形、朴橋、堀越地区の三体のみです。

いつ頃から祀られているのかは明らかではありませんが、古い屋形の面の右側に「文化五（一八〇八）年」とありますので、この頃からすでに祀られていたと考えられます。

伝承によると、悪疫が流行し、その苦しみから逃れるため、悪魔を追い払うという素朴な祈りからお人形様を祀ったと伝えられています。

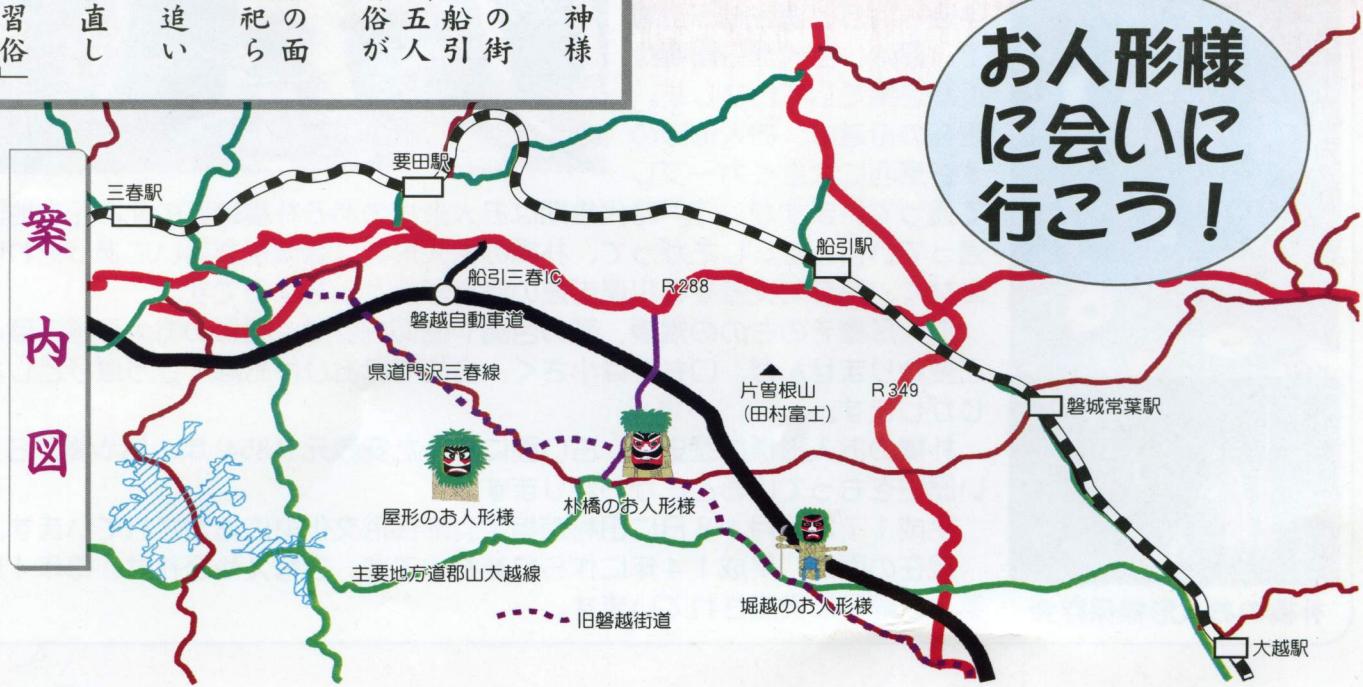
現在も、毎年各々の地区で「お衣替え」と称する、衣装替えと化粧直しの祭礼を行い、地区内、家内の無事息災を祈願しています。

この三体のお人形様は、「磐城街道沿いのオニンギョウサマ製作の習俗」として、平成十三年三月三十日に福島県無形民俗文化財に指定されました。



お人形様
に会いに行こう！

案内図



屋形のお人形様



手、腕、帯と、ナギナタ、刀、幣束などがあり、頭には杉の枝をタテガミのようにつけ、面のまわり全体に杉の葉でヒゲをつけます。藁の腹帯には幣束をはさんで、右手にナギナタ、左の腰に刀をはさみます。

いつ頃から祀られたものか、詳細は不明ですが、現存する幟に文化15(1818)年、古い面に文化5(1808)年旧3月15日と記されているところからそれより以前から祀られていたと思われます。

平成17年4月18日に田村市指定有形民俗文化財に指定されています。

現在の面は、昭和35年に作られたもので、衣替えや祭礼は、旧暦の3月15日に行われておりましたが、最近は、毎年4月の第2日曜日に実施されています。

かつては街道の北側の丘に南向きに立てられていましたが、現在は、屋形地区の公園内に西向きに祀られています。

人形はまず約4.8mの4本の柱を80cm程埋め枠を組み、骨組みに桟をわたし、頭上に竹籠をかぶせ、柱のまわりを藁で編んだ‘こも’で囲み胴とします。

このほかに人形の部品として藁で作った前掛け、耳、



屋形のお人形様保存会

朴橋のお人形様

県道常葉芦沢線と主要地方道郡山大越線（県道門沢三春線）の交差点の北側に磐城街道を見下ろすように立っています。

街道は、会津から郡山、二本松及び須賀川などからの道筋が、三春町で一本になり、平(いわき市)に至る中通り地方と海を結ぶ街道で、原始、古代から重要な役割を果たしていました。現在の街道は、お人形様の下を東西に大きくカーブして通っていますが、江戸時代後期はお人形様のある朴橋地区の北の花立地区を通っていました。したがって、朴橋のお人形様は磐城街道沿いにあったわけではなく、花立て交差する川俣街道のほうが近かったようです。

お人形様そのものの規模、顔の色調や信仰内容は、屋形のお人形様とほとんど変わりませんが、口もとは小さく、金歯でおひげもなくさっぱりとした感じがします。

朴橋のお人形様の歴史は、古い面にあった安政元(1854)年の銘や幟からも長い歴史をもっていることがわかります。

平成17年4月18日に田村市指定有形民俗文化財に指定されています。

現在の面は、平成14年に作られたものです。衣替えや祭礼は、毎年4月の第2日曜日に実施されています。



朴橋のお人形様保存会



堀越のお人形様保存会

平成4年9月に明治40年以来87年ぶりに現在の主要地方道郡山大越線と県道門沢三春線との分岐点にある明石神社境内に、地元の方々の努力によって復元されたお人形様です。もともとは、神社から150m程西の堀越字丸森地内の畠の片隅に立っていたもので、つい先頃まではその畠内に立っていた跡が残っていました。

なぜ明治40年にお衣替えや祭礼が断絶したのかという詳しいことはわかつていませんが、おそらく明治38年の大飢饉に由来するものでしょう。以来お人形様の面は明石神社に収蔵されていました。面は、ケヤキの一枚板に一刀彫りで仕上げたもので、おそらく江戸時代に作られたのでしょう。復元する際その面を新たに色づけし使用しました(現在も使用中)。

最近の衣替えは4月の第2日曜日、祭礼は明石神社の祭礼にあわせて5月4日に実施されています。

延暦20(801)年、坂上田村麻呂が当地明神様に戦勝祈願をし、祠前の石に腰をおろして一夜を明かした。夢に大勝利するご神託があり、そのお告げのとおり勝利したことから、田村麻呂がお礼参りをした際、社号を「明石宮」と名付けたという伝説が語り継がれています。

堀越のお人形様



船引駅のお人形様



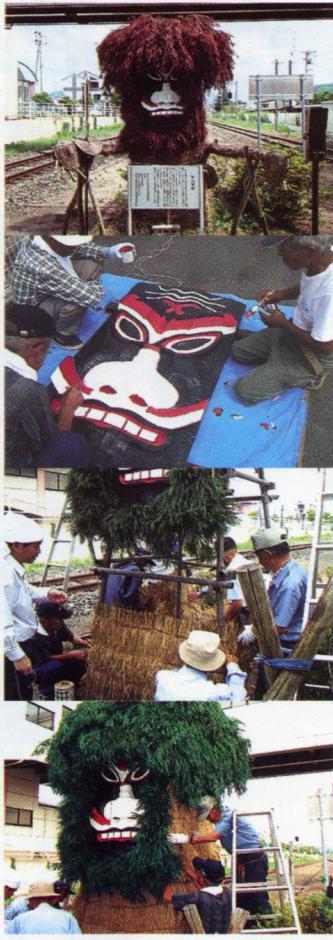
船引駅のお人形様は、芦沢屋形お人形様保存会有志、船引町観光協会、船引町商工会が会員となっておこなってきました。

その後、平成6年7月29日から「船引町お人形様保存会連絡協議会」として、船引地域内の旧岩城(磐城)街道筋(県道門沢三春線)に現存する「お人形様」の保存会相互の連絡協調とその保存に努めるとともに、日本一の巨大お人形様としての名聞を高め、地域おこしに寄与することを目的として、「屋形」、「朴橋」、「堀越」の各お人形様保存会をもって組織し夏と冬の2回衣替えをおこなっています。

現在の面は、平成6年に当時の箭内商工会長さんが彫ったもので、お盆や正月をふるさとで過ごす帰省客などの駅利用者を温かく見守っています。

お盆、年末年始の帰省客へ、ふるさと船引の再認識と、列車運行の安全、乗降客の無病息災の祈願と郷土に親しみを持っていただくため、通年にわたりJR船引駅ホームに、平成元年12月から設置しています。

このお人形様の維持は、交通安全やJR東日本の安全発展と観光に寄与することから、JR船引駅、船引駅友の会、芦沢屋形お人形様保存会有志、船引町観光協会、船引町商工会が会員となっておこなっています。



船引町お人形様保存会連絡協議会

磐城街道沿いのお人形様

豆知識

項目	芹ヶ沢	屋形	朴橋	堀越	広瀬
顔(面)	寸法(縦)	—	125cm	103cm	120cm
	寸法(横)	—	80cm	60cm	70cm
	寸法(厚)	—	10cm	13cm	20cm
	材質	津島神社内に、 お人形様の部品を 宝物として保管	けやき	ほおの木	けやき(一枚板)
作成日	—		S35	H14	江戸
柱	地上寸法		4.0m	3.5m	4.0m
	寸法(太さ)		16cm	16cm	16cm
	材質		栗	栗	栗
その他 実施年代等	古い面に文化5(1808)年 旧3月15日の銘	古い面に安政元(1854)年 の銘	平成4年9月に 明治40年以来 87年ぶりに復元	明治初期まで天王山 に祀られ「天王様」と 呼ばれている。 現在は、「曾富登神社」 に収蔵。10年毎に 塗り替えている。	



船引町お人形様保存会連絡協議会

連絡先 〒963-4393 福島県田村市船引町船引字馬場川原20番地
田村市 産業部 商工観光課 TEL0247-81-2136 FAX0247-81-2522
H P <http://www.city.tamura.lg.jp> e-mail : shoko@city.tamura.lg.jp

